

文教大学

みやたけ としえ

宮武 利江

文教大学 学長



中島滋前学長の任期満了に伴い、4月1日付で宮武利江文学部教授が文教大学第14代学長に就任した。

宮武新学長は、1963年

9月、埼玉県生まれ。筑波大学第一学群人文学類卒業、筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科単位取得満期退学（文学修士）。東京成徳短期大学講師、助教授を経て文教大学に着任し、2012年より教授。教務委員長、文学部長、付属図書館長等を歴任。専門領域は日本語学（日本語史）で、中古仮名文学作品における語彙の用法や、語義の変遷などを研究している。主要論文に「古語「得」と現代語「得

る」の用法について―「罪を得る」の違和感を解く」（北京大学『日本語言文化研究』第11号・2017年）、などがある。

文教大学の建学の精神は「人間愛」であり、他者を尊重し、あたたかい思いやりの心をはぐくむ教育を重視している。これを踏まえ、多様性が重視される現代社会において、在籍する学生も教職員も皆がお互いを尊重し認め合う、そして誰もが個人の特性を生かして活躍できる「インクルーシブな大学」として発展していくことを、新学長の目標として掲げている。

福岡女学院大学

そえじま ゆうじ

副島 雄児

福岡女学院大学 学長



2024年4月1日付で福岡女学院大学・同短期大学部学長に就任した。任期は2024年4月1日から2027年3月31日までの3年間。

副島雄児学長は1986年3月に九州大学理学研究科博士課程を修了。同年2月から旧西ドイツのザールランド大学研究員、1987年に九州大学理学部助手として着任。その後、同学部助教授、基幹教育院教授を経て2023年3月定年退職により35年間の九州大学勤務を終えた。この間、総長特別補佐、副理事を兼務した。

理学博士。専門は結晶物理学で、X線・電子線・中性子

線回折を手段とした結晶構造解析、シンクロトロン光を利用した異常分散効果の構造解析への応用研究を進めてきた。教育業務では、九州大学が2001年に開始した学部横断型の教育プログラム「21世紀プログラム」を担当し、新しいタイプの高等教育の実践とその成果の検証に当たった。

福岡女学院は2025年に創立140年を迎える。学長として、この歴史と伝統を守りながら、現代に求められる魅力ある大学づくりを目指している。

上智大学

すぎむら みき
杉村 美紀

上智大学 学長



曄道佳明前学長の任期満了に伴い、2025年4月1日付で杉村美紀教授が学長に就任した。上智大学創立以来、初の女性学長である。

杉村新学長は、1962年生まれ。1985年お茶の水女子大学文教育学部卒業、1987年東京大学大学院教育学研究科修士課程修了、1992年同大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学、1998年博士（教育学）。

2002年に上智大学専任講師に着任。2013年上智大学総合人間科学部教育学科教授、2014年学術交流担当副学長、2017年グローバル化推進担当副学長等を歴

任し、2024年より上智大学ユネスコチェアホルダーに就任中。専門は比較教育学、国際教育学、多文化教育論。

本学の教育精神である「他者のために、他者と共に」に掲げる他者とは、社会的弱者から危機や困難に苦しむ人々まで地球上のすべての人のこと。豊かな人間性を有し、社会課題に主体的に取り組む「他者に寄り添う」リーダーの育成を目指す。

皇學館大学

さいとう たいら
齋藤 平

皇學館大学 学長



河野訓前学長の任期満了に伴い、2025（令和7）年4月1日付で齋藤平文学部教授が学長に就任した。

齋藤新学長は1990（平成2）年皇學館大学大学院文学研究科博士前期課程修了。2022（令和4）年博士（文学）。1992（平成4）年に皇學館大学助手。その後、講師、助教授、准教授を経て、2013（平成25）年教授。これまでに、教育開発センター長、学生部長、副学長を務めた。

専門分野は、日本語学・社会言語学で、1933（昭和8）年三陸地震津波記念碑に関する伝承の研究、三重県方

言の記述的研究などをテーマとする。研究面のみならず小学校校歌の作詞や三重県民手帳の付録「三重弁辞典」の制作など、地域文化の発信にも力を注いでいる。

本学は、来る2032（令和14）年には創立150周年を迎える。神道を基盤として、神職養成、教員養成や地域自治体と連携して地域課題の解決に取り組む点でも定評がある。神宮御鎮座の伊勢という土地で歴史と伝統を紡いできた風格を保ちながら、現代的課題の解決にも果敢に取り組む学風が、皇學館大学には備わっている。

京都橘大学

おかだ ともひろ
岡田 知弘

京都橘大学 学長



日比野英子前学長の任期満了に伴い、2025年4月1日から学長に就任。

1954年富山県高岡市に生まれ、京都大学経済学部を卒業後、同大学院経済学研究科博士後期課程で所定の研究指導認定を受けた後、岐阜経済大学（現・岐阜協立大学）助教授、京都大学経済学部および同大学院経済学研究科教授を経て、2019年4月から京都橘大学教授に就任。地域連携センター長等を歴任。専門は、地域経済学、地方自治論、近現代日本経済史であり、日本地域経済学会会長、自治体問題研究所理事長を務めた。主著に『地域づくりの

経済学入門』等がある。経済学博士。

橘女子大学を前身とする京都橘大学は、今や9学部15学科5研究科を擁する総合大学へと発展、来年4月にはさらに1学部3学科の新設を予定している。

これまでの成果を引き継ぎながら、総合大学の良さを生かし、本学の教学理念である「自立・共生・臨床の知」をより進化させたいと考えている。京都の地に根差した京都橘らしい大学づくりに励む所存である。

武蔵野大学

こにし たかこ
小西 聖子

武蔵野大学 学長



2025年4月1日付で小西聖子教授が新学長に就任した。小西新学長は1954年愛知県生まれ。1977年東京大学教育学部教育心理学科卒業、1988年筑波大学医学専門学群卒業、医師免許取得。1992年筑波大学大学院博士課程医学研究科修了（博士（医学））。1993年東京医科歯科大学（現・東京科学大学）で日本初の犯罪被害者相談室を設立。1999年武蔵野女子大学（現・武蔵野大学）人間関係学部教授に就任。武蔵野大学人間科学部長、同大学院人間社会研究科長、心理臨床センター長、副学長を歴任。

学外では精神科医として臨床に従事。性犯罪の刑法改正に係る法制審議会臨時委員を二度務め、内閣府の女性に対する暴力に関する専門調査会会長、内閣府男女共同参画会議議員も務める。主な研究分野は被害者支援、外傷後ストレス障害の治療に関する研究。著書『ココロ医者、ホンを診る本のカルテ10年分からは第8回毎日書評賞を受賞。

学校法人武蔵野大学は昨年法人創立100周年を迎え、新学長のもと、より一層のウェルビーイング社会への貢献を目指す。

龍谷大学

あんどう とおる
安藤 徹

龍谷大学 学長



入澤崇前学長の任期満了に伴い、4月1日付で安藤徹文学部教授が学長に就任した。

安藤学長は1968年岐阜県生まれ。1990年名古屋大学文学部卒業、1992年同大学院文学研究科博士前期課程修了、1997年博士後期課程単位取得満期退学。1998年博士(文学)学位取得。日本学術振興会特別研究員を経て、2000年龍谷大学文学部専任講師として着任し、2010年に教授に就任した。その後、図書館長、文学部長、副学長等の要職を歴任している。

専門は日本古典文学、特に『源氏物語』を中心とした平

安朝文学。著書に『源氏物語と物語社会』、『日本文学からの批評理論…亡霊・想起・記憶』(共編著)などがある。

龍谷大学では2020年度より、創立400周年を迎える2039年度の「龍谷大学のあるべき姿」を到達点として設定した20年間に及ぶ長期計画「龍谷大学基本構想400」を展開している。「サステナビリティへの『旅』―変革の加速へ―」という副題のもと、昨年度から開始した第2期中期計画では、今年度も含めてさらに3年間にわたって諸事業を意欲的に推進していく。

Pick Up!

クローズアップ・インタビュー

メッセージ動画は
こちらから
ご覧ください。



大学時報では毎号、著名人のインタビューを掲載しています。取材では、プロフェッショナルとしての仕事に対する思いや、大学時代のご様子、教育に対する考えなども時に交えた熱いトークを展開。メッセージ動画も公開中ですのでぜひご覧ください！



山田 泰子 氏

日本郵便株式会社 切手デザイナー
インタビュー全文はこちらから



鈴木 俊貴 氏

動物言語学者、東京大学 准教授
インタビュー全文はこちらから



Diana Khor (ダイアナ・コー)

法政大学総長・グローバル教養学部教授。’94スタンフォード大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士(社会学)。’253月より現職。

金山 愛子 (かなやまあいこ)

敬和学園大学学長。’89米国プリンマー大学大学院修士課程修了(M.A. in Greek)。専門は英文学。敬和学園大学人文学部教授を経て’23より現職。

音 好宏 (おとよしひろ)

上智大学文学部教授。’90上智大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専門はメディア論。主著『放送メディアの現代的展開』ほか。

藤野 圭 (ふじのけい)

上智学院ダイバーシティ・サステナビリティ推進室長。’15上智学院入職、学事局グローバル教育推進室、総務局総務グループを経て、’24より現職。

高橋 武 (たかはしたける)

甲南大学アドミッシンセンター職員。’18甲南大学経済学部卒業。’18甲南大学入職より現職。

り現職。

佐野 竜平 (さのりゅうへい)

法政大学現代福祉学部教授。チェンマイ大学大学院芸術・メディア・技術学院修了(博士・知識創造論)。研究テーマは「アジアの障害インクルーシブな国際協力」。

齋藤 智 (さいとうとも)

東京大学ディベロップメントオフィスチーフエキスパート。’17放送大学大学院文化科学研究科修士課程修了。修士(学術)。JSPS London副センター長を経て、’24より現職。

山咲 博昭 (やまさきひろあき)

広島市立大学教育基盤センター講師。’24同志社大学大学院総合政策科学研究科博士後期課程修了。博士(政策科学)。関西大学事務職員を経て、’23より現職。

田中正弘 (たなかまさひろ)

筑波大学准教授。’04 Institute of Education, University of London 修了。最終学位: PhD in Education。主著: Student Engagement and Quality Assurance in Higher Education

廣田 りょう (ひろた りょう)

学校法人福岡女学院理事長。’79早稲田大学政治経済学部卒業。’16九州大学大学院医学系学府医療経営管理学専攻修士課程修了。銀行、学校法人久留米大学等を経て現職。

河村 由紀彦 (かわむらゆきひこ)

龍谷大学瀬田キャンパス推進室部長。

中峯 秀之 (なかみねひでゆき)

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス事務長。慶應義塾大学法学部法律学科卒業。

志鷹 英男 (したかひでお)

学校法人金沢工業大学企画部次長。富山大学大学院人文学部研究科退学。

甲野 純正 (こうのよしまさ)

ZEN大学教育開発部部長。’96関西学院大学大学院文学研究科博士課程前期課程修了。修士(地理学)。

松本 孝朗 (まつもとたかあき)

中京大学スポーツ科学部教授、医師。ほか環境省、日本スポーツ協会の要職を務める。’83長崎大学医学部卒業。’96博士(医学)。愛知医科大学医学部助教授を経て、’05より現職。

北岡 明佳（きたおか あきよし）

立命館大学総合心理学部教授。⁹¹筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。教育学博士。専門は知覚心理学。主著『錯視入門』。

山田 春菜（やまだ はるな）

拓殖大学政経学部経済学科助教。一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。同大学経済学部非常勤講師を経て現職。

小檜山 ルイ（こひやま るい）

フェリス女学院大学学長。国際基督教大学大学院比較文化研究科博士後期課程修了。博士（学術）。²⁴より現職。近著に『明治の「新しい女」』『帝国の福音』など著書多数。

安部 紀芳（あべ きよし）

立教学院本部総務部施設課担当課長。⁹⁴日本大学大学院理工学研究科建築学専攻前期課程修了。民間設計会社を経て⁹⁸8月学校法人立教学院に入職。

宮原 秀明（みや はら ひであき）

大阪学院大学事務長。

藤田 佳久（ふじた よしひさ）

愛知大学名誉教授。名古屋大学大学院文学

研究科博士課程中退。理学博士（東京教育大学、地理学）。主著『東亜同文書院生が記録した近代中国の地域像』。

大櫃 直人（おおひつ なおと）

⁸⁸関西学院大学卒業後、富士銀行に入行。²⁴みずほフィナンシャルグループみずほ銀行エグゼクティブアドバイザーに就任。スタートアップの成長支援事業を手掛ける。²⁵3月現在）

外川 智恵（とがわち え）

大正大学表現学部教授。同大学卒業。カリフォルニア臨床心理大学院修士課程修了。山梨放送を経てフリー。NTT技術ジャーナル巻頭インタビュー、新語・流行語大賞の総合司会など。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

会長の動き

- 5月9日(金)
「採用と大学教育の未来に関する産学協
議会」に出席
- 5月13日(火)
第2回常務理事会、第2回理事会に出席
- 5月21日(水)
全私学連合代表者会議に出席
- 5月27日(火)
第3回常務理事会、第3回理事会に出席
- 6月9日(月)
補欠理事選考委員会に出席、記者懇談会
に出席
- 6月17日(火)
第1回総会に出席

記者懇談会を開催

私大連役員と報道関係者などで意見交
換を行う記者懇談会を、令和7年6月
9日(月)に開催しました。
今回は、私大連がとりまとめた『文
理横断教育の実践と推進』並びに『成
長分野への構造転換を見据え取り組む
べき施策―私立大学理工農系分野の量
的・質的充実と持続的発展―』を題材
に、私立大学が果たす役割や今後の課

題などについて意見交換しました。ま
た、この他、私立大学を巡る諸課題に
ついて共通理解を深めました。



私大連TOPICS

令和7年春の叙勲・褒章
(私大連事業関係者)

◆ 瑞宝中綬章

北川 薫

(中京大学名誉教授)

進士五十八

(東京農業大学元学長)

油井 雄二

(成城大学元学長)

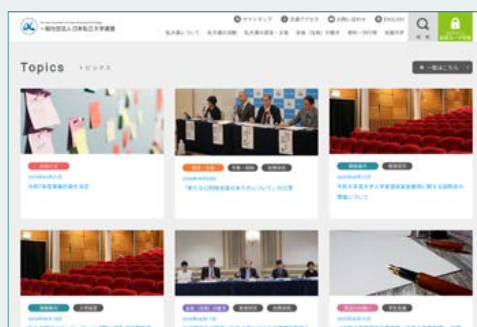
◆ 瑞宝小綬章

山野 博史

(関西大学名誉教授)

詳細は、私大連Webサイトを
ご覧ください。

<https://www.shidairen.or.jp/>





私大連Presents 学長インタビューシリーズ

学長ときどき私

YouTubeで
配信中!



人の魅力が、 私立大学をつくる。

学長の学生時代、研究の道に進んだきっかけ、プライベートの過ごし方や高等教育への思いなど、学長という一人の人間を通して私立大学で学ぶことの魅力を浮き彫りにします。



Vol.9 武蔵野美術大学
樺山 祐和 学長(専門:絵画)
<2024年10月公開>



Vol.10 中京大学
梅村 清英 学長(専門:経済学)
<2024年11月公開>



Vol.11 立命館アジア太平洋大学
米山 裕 学長(専門:アメリカ史、日系移民史)
<2025年1月公開>



Vol.12 獨協大学
前沢 浩子 学長(専門:英文学)
<2025年2月公開>

4学長が並ぶバラエティ豊かな番外編も!

学長ときどき私「一問一答編」

- Q. 趣味・特技を教えてください
- Q. 人生で一度は行きたい場所は?
- Q. これから挑戦してみたいことは?
- Q. 過去と未来、どちらに行ってみたいですか?
- Q. これだけは欠かせない「我が相棒」は?
- Q. 若者たちにお勧めしたい本は?
- Q. 大切にしている言葉、信条は?



座談会 「未来を創る、食のイノベーション」

特集 「未来の自分を描く低年次キャリア教育」

小特集 「多様な分野における博士人材の活躍」

だいがくのたから 仙台白百合女子大学

大学点描 国際武道大学

クローズアップ・インタビュー

青戸 慎司さん(中京大学スポーツ振興部副部長、ソウル・パルセロナ五輪陸上短距離代表、長野冬季五輪ボブスレー代表)

編集後記

◆本号では大学における学生参加を特集した。サステナビリティ活動を企画・推進する学生職員、学生募集広報を担う学生、語学学習と地域貢献を結びつけた新たな学びの創出、さらにフアンドレイジング支援を通じてステークホルダーとの関係構築に貢献する学生の取り組みや学生視点を取り入れた学生参画型質保証の実践を紹介した。いずれも、学生が主体的に関与する好例である。学生にとっても実践的な課題解決力やコミュニケーション能力を養う学びや気づきの機会となっている。一方、学生は単なる受益者ではなく「質保証活動の当事者である」との認識は、大学関係者の間でも十分に浸透しているとは言いがたい。加えて、大学のカリキュラムや意思決定といったガバナンス領域への学生参画には、なお多くの課題が残されているのが現状である。とはいえ、アンケート調査の結果から、先進的な事例がすでに存在することも示されており、注目に値する。本特集が大学関係者の意識変革の一助となれば幸いである。

◆24時間利用ができる施設を運営している大学の実態を把握することは難しい。特に利用者の様子などを知れる機会は少なく、学生たちにとってどのように受け止められているのかはほとんどわからない。

今回の小特集では、24時間利用できる施設の概要に加え、設置の経緯や利用の様子、展望などにも触れていただき、キャンパスの在り方を検討する各大学にとって、大変参考になったのではないだろうか。どの大学においても社会や学生の気質の変化にあわせた運用を心がけており、決して、24時間開放しているだけではない。通学や食環境の課題解決も視野に入れ運用していたり、空間的・時間的制約を取り払い、情報技術を活用しながら学びを効率化させていたりと運用の目的も多様化している。本小特集が、それぞれの大学が抱える課題に応じて、「24時間施設を利用すること」も選択肢の一つとして検討できるようになっていれば幸いである。〈広報・情報委員会大学時報分科会委員・法政大学多摩事務部多摩事務課課長 須藤智徳〉

◆インタビューでは、株式会社みずほ銀行の大櫃直人さんにお話を伺った。若手経営者との出会いをきっかけにスタートアップ支援事業を立ち上げ、スタートアップ・エコシステムの構築や次世代の経営者育成を通じて、日本経済の活性化に尽力されていた。誰に対しても真摯な姿勢とバイタリティ溢れる行動力は、まさに「リアル半沢直樹」であり、とても刺激的であった。

覆面形式で実施した座談会では、異なる業界から大学へ転職してきた中途採用職員の方々に登壇いただいた。大学業界の組織風土や文化などに関するギャップや戸惑いについて率直にお話しいただき、前職の経験を活かして新たな視点で大学に改革を起こそうとする姿勢は、同じ大学職員として学ぶ点が多かった。

今後、激変する大学業界において、未来を切り拓く鍵となるのは、伝統と規範を尊重しつつも失敗を恐れない行動力と多様な意見を取り入れる柔軟さをもつ大学職員なのではないだろうか。〈日本私立大学連盟事務局・梅村学園出向 吉田匡孝〉

一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (118大学 令和7年7月20日現在)

愛知大学
亜細亜大学
青山学院大学
跡見学園女子大学
梅花女子大学
文教大学
筑紫女学院大学
中央大学
中央大学
大東文化大学
獨協大学}
獨協医科大学}
姫路獨協大学}
同志社大学}
同志社女子大学}
フェリス女学院大学
福岡大学
福岡女学院大学}
福岡女学院看護大学}
学習院大学}
学習院女子大学}
白鷗大学
阪南大学
広島女学院大学
広島修道大学
法政大学
実践女子大学
上智大学
城西大学}
城西国際大学}
順天堂大学
金沢星稜大学

関西大学
関西学院大学
関東学院大学
関東学院大学
慶應義塾大学
敬和学園大学
神戸女学院大学
皇學館大学
國學院大學
国際武道大学
国際基督教大学
駒澤大学
甲南大学
久留米大学
共立女子大学
京都産業大学
京都精華大学
京都橘大学
九州産業大学
松山大学
松山東雲女子大学
明治大学
明治学院大学
宮城学院女子大学
桃山学院大学
武蔵大学
武蔵野大学
武蔵野美術大学
名古屋学院大学
南山大学
日本大学
日本女子大学

ノートルダム清心女子大学
大阪学院大学
大阪医科薬科大学
大阪女学院大学
大谷大学
追手門学院大学
立教大学
立正大学
立命館大学}
立命館アジア太平洋大学}
龍谷大学
流通科学大学
流通経済大学
西武文理大学
聖学院大学
成城大学
聖カタリナ大学
成蹊大学
西南学院大学
聖路加国際大学
聖心女子大学
専修大学}
石巻専修大学}
芝浦工業大学
白百合女子大学}
仙台白百合女子大学}
昭和女子大学
創価大学
園田学園大学
大正大学
拓殖大学
天理大学

東邦大学
東北学院大学
東北公益文科大学
東海大学
常磐大学
東京女子大学
東京女子医科大学
東京経済大学
東京国際大学
東京農業大学}
東京情報大学}
東京歯科大学
東洋大学
東洋英和女学院大学
東洋学園大学
豊田工業大学
津田塾大学
和光大学
早稲田大学
山梨英和大学
四日市大学}
四日市看護医療大学}

大学時報

University Current Review
2025/7月号

第74巻423号(通巻436号)
令和7年7月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 森康俊(関西学院大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
私学会館別館
電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363
<https://www.shidairen.or.jp>

編集 株式会社 WAVE
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル3階
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-1
住友不動産虎ノ門タワー20階

松田美佐(中央大学文学部教授)
須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)
藤野圭(上智大学ダイバーシティ・サステナビリティ推進室室長)
玉村まゆか(関西大学総合企画室広報課長)
中谷良規(関西学院広報部企画広報課課長)
河越英代(慶應義塾広報室長)
野見山智道(明治大学経営企画部広報課長)
大野百合子(立教学院総長室渉外課課長補佐)
勝屋藍太(立命館大学総合企画部広報課長)
山田健太(専修大学文学部教授)
高橋慈海(大正大学理事長室室長)
大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)
中條賢二(津田塾大学経営企画課課長)
小泉邦人(早稲田大学エクステンションセンター事務長兼
コンテンツユース・エデュケーション推進室課長)
春名貴明(日本私立大学連盟事務局)
加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)
長尾早姫(日本私立大学連盟事務局)
吉田匡孝(日本私立大学連盟事務局)

